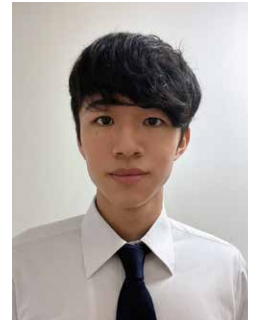




# あたしたちの 読書事情

キャンパスに学生の姿が戻り、大学図書館もやっと通常に近い形で開館できるようになりました。コロナ禍を経て、学生の皆さんの読書環境や読む本の内容に変化はあったのでしょうか？各学部の学生さんに、最近の読書事情について聞いてみました。



## 上半期 (4月～7月) 大学図書館貸出回数上位の本

大学図書館らしく研究書も上位に入りました。文学賞受賞作はやはり人気が高いです。

研究書

### 『乱世の天皇： 親応の擾乱から応仁の乱まで』



秦野裕介著  
東京堂出版  
大学図・1F開架  
288.4A/H42r

読みもの 『黒牢城：Arioka Citadel case』



米澤穂信著  
KADOKAWA  
大学図・1F開架  
Best/2021


直木賞  
受賞作!

Q1. 普段本(電子書籍含む)は読みますか?  
どんなジャンルの本を読みますか?  
(複数回答可)



- 塚本さん 学術書・研究書、エッセイ、自己啓発書、雑誌
- 武田さん 文芸書(小説・詩歌)
- 杉山さん 文芸書(小説・詩歌)、雑誌
- 大嶋さん 学術書・研究書、文芸書(小説・詩歌)
- 岩田さん 学術書・研究書、実用書、自己啓発書、漫画

Q2. よく本を読む場所を教えてください。  
(複数回答可)

- |                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| 塚本さん<br>図書館内<br>自分の部屋               | 武田さん<br>自分の部屋   |
| 杉山さん<br>自分の部屋<br>リビング               | 大嶋さん<br>電車・バスの中<br>自分の部屋  |
| 岩田さん<br>電車・バスの中<br>自分の部屋<br>カフェ等外出中 |  |

Q3. 紙の本と電子書籍、  
最近どちらを読むことが多いですか。



全員  
紙の本のみ

Q4. おすすめ本を1冊、挙げてください。(①タイトル・②著者・③出版社・④大学図書館所蔵・⑤おすすめの理由順)

<p>塚本さん</p> <p>①『FACT FULNESS (ファクトフルネス)』</p>  <p>②ハンス・ロスリング、オーラ・ロスリング、アンナ・ロスリング・ロンランド ③日経 BP 社 ④なし</p> <p>⑤これまで当たり前だと考えていたことが、実は勘違いであることを統計的に説明されていて、誤解が生じる原因にも言及されているところが興味深いと思ったから。この本を読むことで、自分にかかっていたバイアスを取り除かれ、その問題を新たな視点で考えることができるようになった。</p>	<p>武田さん</p> <p>①『赤と青と エスキース』</p>  <p>②青山美智子 ③PHP研究所 ④なし</p> <p>⑤短編集の様な構成になっているのですが、最後にはそれぞれのお話が繋がり、すぐに2回目を読みたくなる面白さです。短編集なので普段読書をしていない人でも読みやすいと思います。</p>	<p>杉山さん</p> <p>①『運転者 未来を変える 過去からの使者』</p>  <p>②喜多川泰 ③デイスカヴァー・トゥ エンティワン ④なし</p> <p>⑤「運」は「いい」「悪い」で表現するものではなく、「使う」「貯める」で表現するものだを教えてくれ、それを機に私の中で運命に対する考え方も変わり生きることが少し楽になったと感じたため。個人的に、心にグツと刺さるようなフレーズがたくさんあり、何度も読み直したいと思えたため。</p>	<p>大嶋さん</p> <p>①『青い鳥』 (新潮文庫)</p>  <p>②重松清 ③新潮社 ④大学図・1F開架 Bunko/Sh28</p> <p>⑤主人公である村内先生のいじめの考え方、そして先生になった理由など、人生のためになる考え方が多いからです。</p>	<p>岩田さん</p> <p>①『1万人の脳を見た 名医が教える すごい左利き』</p>  <p>②加藤俊徳 ③ダイヤモンド社 ④なし</p> <p>⑤左利きである私が、これまで感じてきた違和感は脳の仕組みの違いによるものである、ということが説明されていきます。左利きであることを驚かれたり、天才呼ばわりされ憧れの的となりました。ただ、その違和感は自信に変えるべきであり、それを才能として紹介してくれる本書は、左利きとしての自意識を上げてくれました。</p>
---	---	---	---	--

Q5. 大学図書館はよく利用しますか。

- 塚本さん - Yes (月2回くらい)
- 武田さん・杉山さん - No
- 大嶋さん・岩田さん - Yes (月4回くらい)

Q6. コロナ禍を経て、ご自身の読書環境や頻度に変化はありましたか。

- 塚本さん: 1人で過ごす時間が増えたことで、読書する頻度は増した。そして読書を通して、自分を見つめ直す機会も多くなった。
- 武田さん: 以前は、多くの作品を読むよりも気に入った作品を何回も読み返すことが多かったのですが、コロナ禍以降は書店に行く頻度が増え、新しい本をよく読むようになりました。
- 杉山さん: 本を読んだ方がいいとは思っているけど読みたいと思えるような本がない、という感じだったので特に変化はありませんでした。ただ最近やっと読みたいと思える本が何冊か見つかったので時間を見つけて買いに行く予定です。
- 大嶋さん: 家にいる時間が多くなったので、読む頻度は増えました。
- 岩田さん: はい、かなり変化がありました。コロナ禍によるおうち時間の増加で、読書の量も頻度も格段に増えたと思います。(大学生になり、読書への意識が変わったことも理由の1つだとは思いますが)

回答してくれた学生のみなさん



法学部 政治学科 2年  
塚本雅也さん



経済学部 経済学科 3年  
武田佳耶乃さん



文学部 哲学科 3年  
杉山葵さん



理学部 物理学科 3年  
大嶋廉さん



国際社会科学部 国際社会科学科 3年  
岩田鼓太郎さん

## 新館ミニ情報



2023年4月開館予定の新大学図書館を紹介する特設サイトを公開しました。新図書館のコンセプトの他、館内のイメージ画像を掲載しています。ぜひご覧ください。



## 新東1号館の一部外観が見えるようになりました!



## わたしの本棚

文学部ドイツ語圏文化学科  
トーマス・ペーカー教授

### So many books - and you still need more!

For someone like me who lives and works in Japan, but whose field of research is not a specific Japan topic - my field is German literature - it is sometimes not easy to get hold of current research literature, books and articles. But fortunately there is the Inter Library Loan (and Copy) Service that Gakushuin Library offers, which has often helped me to be able to read the books and articles that libraries all over Japan have. Of course there is a lot more literature on specific research questions in the large libraries in Germany itself, but that's what I have the semester break for. I always enjoy working at the State Library



(Staatsbibliothek) in Berlin, where, by the way, you can read more and more books online, so here in Japan, too. One should not forget the databases offered by the Gakushuin Library, e.g. the library portal (Bibliotheksportal) of the most influential newspaper in Germany, the Frankfurter Allgemeine Zeitung.

By the way, libraries are highly valued in Germany; as the great physicist Albert Einstein once said: "Das einzige, was Sie unbedingt wissen müssen, ist der Standort einer Bibliothek." ("The only thing that you absolutely have to know is the location of the library.") Glad I know where the Gakushuin Library is located, just three minutes away from my office!

来ぶらり No.117 2022年 11月1日

学習院大学図書館 〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

発行責任者：鈴木亘教授 編集委員：藤本智美・遠山有紀

1階貸出・返却カウンター (内線 2397) : ☎ 03-5992-1009(直通) 2階レファレンスカウンター (内線2395・2396) : ☎ 03-5992-9249(直通)

「来ぶらり」のバックナンバーは (<https://www.gakushuin.ac.jp/univ/glim/about/publication.html>) で公開しています。

ISSN 2186-6724